

第1章 はじめに

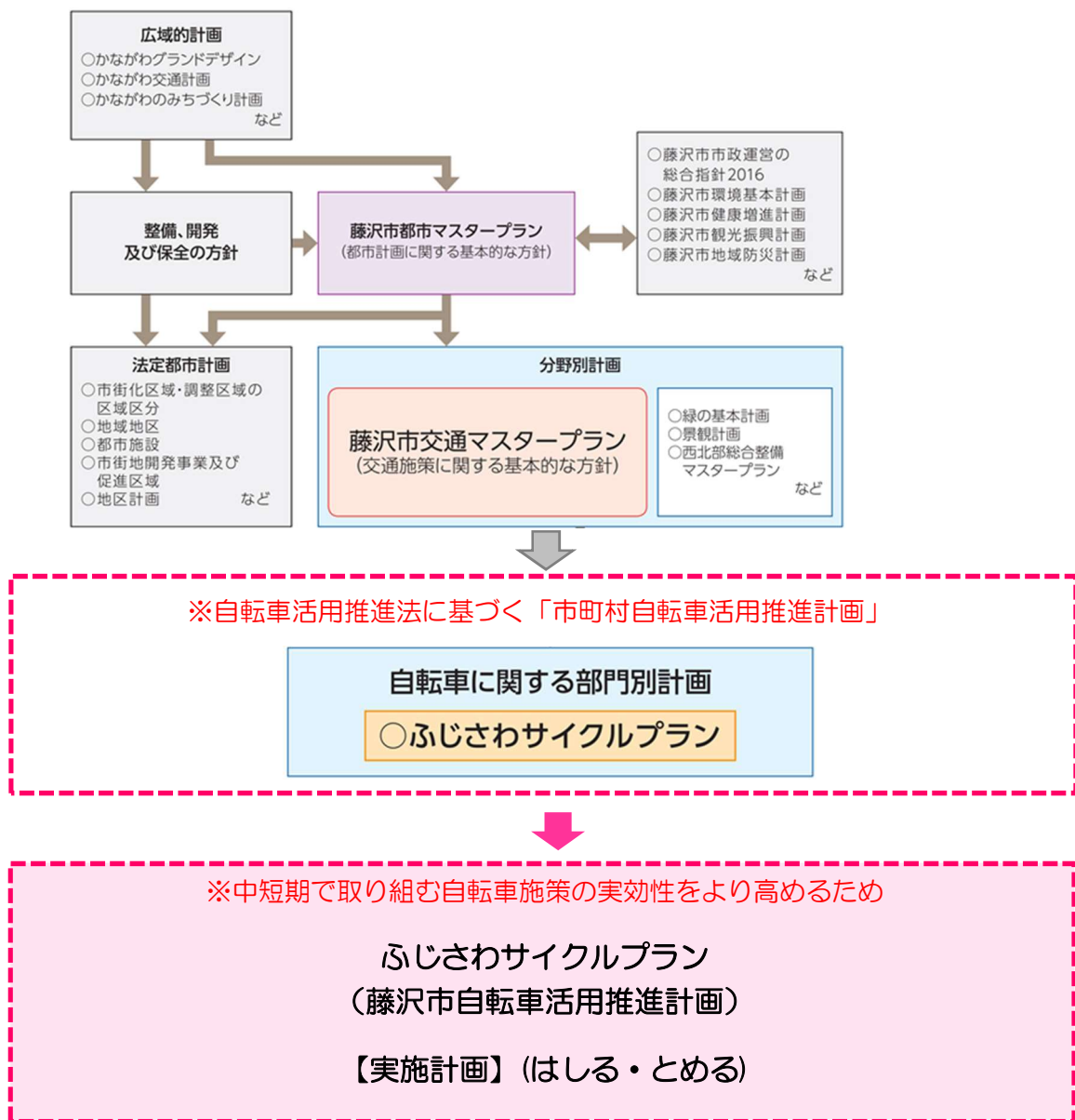




第1章 はじめに

1-1 実施計画の位置付け

「ふじさわサイクルプラン【実施計画】」（以下、「実施計画」という。）については、「ふじさわサイクルプラン」を自転車活用推進法に基づき「市町村自転車活用推進計画」に定めたことにあわせて、中短期で取り組む自転車施策のうち、実効性をより高めていく必要がある「はしる～走行空間整備～」と「とめる～駐輪環境整備～」について、実施スケジュールを示していくものです。





1-2 実施計画の役割

- 実施計画は、「ふじさわサイクルプラン」の計画期間である2030年度（令和12年度）を見据え、2020年度（令和2年度）から2030年度（令和12年度）までの実施スケジュールを示します。
- 実施計画では、「ふじさわサイクルプラン」の中短期で取り組む自転車施策のなかでロードマップを示していない「はしる～走行空間整備～」、「とめる～駐輪環境整備～」の施策について、実施スケジュールを示します。
- 「はしる～走行空間整備～」では、自転車走行空間づくりのほか、鉄道駅周辺の自転車走行空間づくりと先導的に取り組む路線以外の路線の実施スケジュールを示します。

「はしる～走行空間整備～」で取り組む施策

施 策	取 組 み
1 自転車走行空間づくり	●自転車走行空間の整備
2 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり	●藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅、長後駅周辺の自転車走行空間づくり
3 先導的に取り組む路線以外の路線	●左側通行を促す路面標示など

- 「とめる～駐輪環境整備～」では、新たな駐輪スペースの確保や既存駐輪施設の有料化や機械化などの実施スケジュールを示します。

「とめる～駐輪環境整備～」で取り組む施策

施 策	取 組 み
1 新たな駐輪スペースの確保	●自転車交通量が多い鉄道駅周辺における新たな駐輪施設の整備
2 既存駐輪施設の利用環境の向上	●既存無料駐輪施設の有料化の検討
	●既存駐輪施設の利便性を高める方策の検討

- この実施計画の実施によって、重点とする鉄道駅4駅（藤沢駅・辻堂駅・湘南台駅・長後駅）と、4駅とのネットワークを考慮した路線等の自転車走行空間の整備を図るとともに、駐輪需要の高い藤沢駅周辺への新たな駐輪スペース確保と既存駐輪場の有料化の完了を図っていきます。